

「日本経営診断学会第47回全国大会」報告希望者募集について(お知らせ)

2014年度の日本経営診断学会第47回全国大会は、「環境の価値と経営診断」を統一論題として、2014年11月7日(金)～11月9日(日)の日程で、明治大学駿河台キャンパス(千代田区神田駿河台)にて開催することになりました。ご報告を希望される会員の方は、下記の要領にしたがってお申込み下さい。

1. 開催日程

11月7日(金)	午後	理事会、各種委員会
11月8日(土)	午前	自由論題報告
	午後	統一論題報告、シンポジウム 会員総会、学会賞表彰式、懇親会
11月9日(日)	午前	自由論題報告、大学院生報告、診断事例報告
	午後	共同プロジェクト研究報告 大学院生報告優秀賞表彰式、診断事例報告優秀賞表彰式

※ 報告者数、講演者の都合により一部日程に変更が生じる場合があります。

2. 報告申込み要領

- (1) 報告申込書を E-mail の添付ファイル(takahasi@kisc.meiji.ac.jp)もしくは FAX(03-3296-2151)にて大会実行委員長宛にお送りください。
- (2) 報告申込みの期限は、5月9日(金)とします。期日は厳守して下さい。報告希望者が多数の場合、審査の上、報告できない場合もあります。また、統一論題報告についてはテーマに関わるご報告をお願いします。なお統一論題報告希望者が多数の場合には、自由論題でのご報告をお願いすることもありますので、予めご了承下さい。
- (3) 報告申込み受付後、大会実行委員会から申込み受付の連絡をいたします。5月19日(月)までに返信がない場合は、お手数ですが大会実行委員長までお問い合わせ下さい。
- (4) 原則として、発表者は全員、本学会会員および入会手続き中の方で、各部会で報告された方もしくは報告予定の方とします。

3. 報告申込み締切 2014年5月9日(金)

4. 報告者の決定、「予稿集原稿作成依頼」の連絡 2014年5月下旬

E-mail もしくは FAX にてご連絡致します。報告者の決定および予稿集原稿作成依頼のご連絡から予稿集原稿の提出締切まであまり時間ありませんので、報告希望者はあらかじめ予稿集原稿のご準備をお願い致します。

5. 予稿集原稿の提出締切 2014年6月30日(月)

予稿集の原稿につきましては、学会ホームページより「論文テンプレート」をダウンロードし、これに基づいて執筆して下さい。予稿集は打ち出し原稿をそのまま印刷しますので、論文テンプレートに従って丁寧に作成して下さい。原稿の提出は、E-mail の添付ファイルでお送りください (Word または PDF ファイル)。

大会実行委員会への予稿集原稿の提出をもって、正式に報告申込みの受理となりますので、期日は厳守して下さい。期日までに予稿集原稿が到着しない場合には、報告は取消しとさせていただきます。

なお、大学院生報告優秀賞表彰の審査を希望される場合は、論文審査(事前審査)のた

めの「論文」(A4用紙 36 字×30 行で 6 ページを添付ファイル提出、図表等も 6 頁に収めること)をお送り下さい。また「論文」には、申請区分(「一般院生部門」、「留学生部門」、「社会人院生部門」)を明記してください。大学院生優秀賞審査希望の場合も、上記「論文」が期日の 6 月 30 日(月)までに到着しない場合、大学院生報告優秀賞表彰の対象とはなりません。また、当日審査における報告内容と「論文」が著しく異ならないように十分注意してください。

6. 大学院生報告優秀賞表彰に関する昨年度との変更点

3 つの申請区分(「一般院生部門」、「留学生部門」、「社会人院生部門」)を前回より設けました。申込時にお知らせください。

今回の大学院生報告優秀賞表彰は、前回の全国大会と同様、論文審査と発表審査の 2 段階となり、論文審査で表彰候補者を絞り、その候補者のみを発表審査いたします。発表審査候補者の公表はいたしません。また、大学院生報告優秀賞表彰式への参加も必須条件となりますのでご注意ください。以下に論文審査(事前審査)と発表審査(当日審査)の評価項目を示しますので、ご参照ください。

【書類審査(事前審査)評価項目】

評価項目	項目内容
独自性	A 研究内容の新規性、B 研究成果・知見の明確性、C 新領域開拓の期待性
論理性	A 誤字、脱字の状況、B 先行研究の渉猟性、C 精深かつ体系的知識性など
形式性	A 起承転結・三段論法など論文形式、B 現状分析・課題認識・改善策などの明確性、普遍的命題から個別的事例の命題を検討する演繹法、個別事例から法則性を見出す帰納法などの論文構成、C 文献・雑誌・統計資料の引用や明示の文献妥当性など

【発表審査(当日審査)評価項目】

評価項目	項目内容
説得性	A 時間配分・テンポの適切性、B 言葉の明確性、C 報告資料の作成・利用状況など
整合性	A 主題と結論の整合性、B 主題と章・節の整合性、C 発表内容が歴史研究・理論研究・実証研究・事例研究の中のどれと整合性を取れているかなど

7. 大会開催案内・大会プログラムの発送 2014 年 7 月下旬

<p>【ご報告申込みおよびお問い合わせ先】</p> <p>日本経営診断学会第 47 回全国大会 実行委員会長 高橋昭夫(明治大学)</p> <p>電話&FAX 03-3296-2151</p> <p>E-mail: takahasi@kisc.meiji.ac.jp</p>
